

公益目的支援事業活動交流発表会を開催しました！

(一社)九州地域づくり協会では、令和3年度の公益目的支援事業の支援団体を対象に、協会主催、九州地方整備局後援の「公益目的支援事業活動交流発表会」を令和4年9月12日(月)に開催しました。

本交流発表会は、九州7県の河川・道路等の社会資本整備に関する交流活動、地域活性化・環境保全に配慮した地域づくりに勤しむ活動団体の活動の励みやモチベーションの向上に役立つことを目的としています。

活動団体8団体による令和3年度における好事例の紹介や活動成果の事例発表を踏まえ、『継続ある活動』をテーマとした活発な意見交換を行いました。当日は、コロナ感染対策のため、会場参加とZoomウェビナーによるオンライン参加を併用し、100名を超える方々(会場49名、Web57名)にご参加いただきました。

多様な場面で活動される参加者の皆さまからは、「今後の取組に大変参考になった」「現場の活きた情報が聞けた」「今後も交流発表会を是非継続して欲しい」との感想や、今後議論したいテーマ等様々なご意見をいただきました。

主催者挨拶

来賓挨拶



九州地域づくり協会
理事長 田中 慎一郎



九州地方整備局
企画部長 森下 博之 様

事例 発表 (8団体)



NPO法人はかた夢松原の会
尾木 様



自然と暮らしを考える
研究会
石盛 様



“語ろうみんなで！
三つの輪”実行委員会
木ノ下 様



花線自治公民館
二見 様



郷之原夢案づくり
協議会
谷口 様



郷之原夢案づくり
協議会
吉元 様



玄界灘風景街道
パートナーシップ推進会議
樹谷 様



日豊海岸シーニック
・バイウェイ研究会
古田 様



ながさきサンセットロード
振興会
坂本 様



ながさきサンセットロード
振興会
松尾 様



ながさきサンセットロード
振興会
川原 様

意見交換

公益目的支援事業審議委員会の玉川委員長コーディネートのもと、会場やオンライン参加者を交えて『**継続ある活動**』をテーマに活発な意見交換を行いました。



(意見交換会)コーディネーター
公益目的支援事業審議委員会
玉川 孝道 委員長



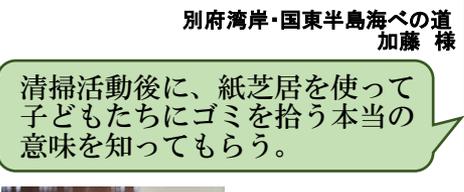
「つながる・ひろがる」やまなみハイウェイ実行委員会
阿南 謙

子どもに近い存在である大学生の育成が重要。継続して参加することで次の年につながっていく。



九州地方整備局 谷川道路情報管理官のコメント

地域の発展、経済を支えるため、道路整備とともに、地域の方々と今ある活動や歴史を大事にするお手伝いをしている。地域の方々が元気になれるように一緒に活動し、皆さんを支えられるように努力していく。



別府湾岸・国東半島海への道
加藤 謙

清掃活動後に、紙芝居を使って子どもたちにゴミを拾う本当の意味を知ってもらう。



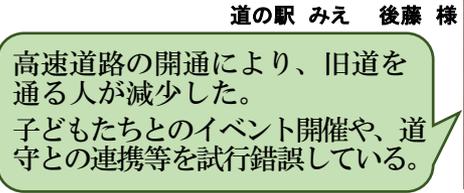
【活動を継続するためのポイント】

- ①若手の人材育成
- ②資金力
- ③活動の魅力向上



NPO法人はかた夢松原の会
磯谷 謙

日本の原風景を未来に残していかなければならない。活動に対する熱意が一番大切。



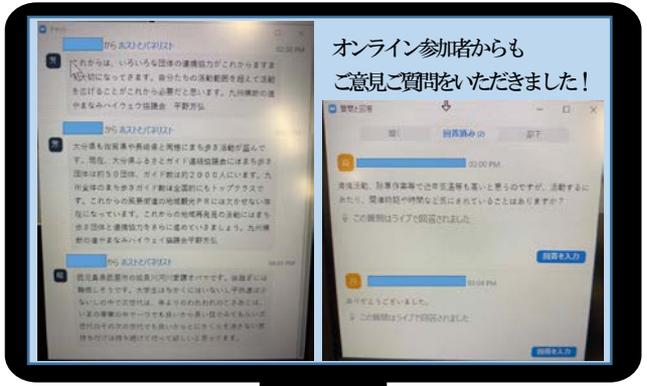
道の駅 みえ 後藤 様

高速道路の開通により、旧道を通る人が減少した。子どもたちとのイベント開催や、道守との連携等を試行錯誤している。



総括

- ①**若手の人材育成**
次世代へバトンを渡していけば組織・活動は続く。
参加意識を高め、活動を楽しく意味のあるものに。
 - ②**資金力**
活動が地域経済に寄与できると地域の支持が得られる。
次世代まで含めた支援する仕組み作りが必要。
 - ③**活動の魅力向上**
ふるさとの原風景と子どもたちいかに接点を持たせるか。郷土愛を育むことが継続につながる。
- 互いに知恵を出して頑張っていこう！！**



オンライン参加者からも
ご意見ご質問をいただきました！



会場参加の皆さんで記念撮影📷